

# 市内各地で地すべり、床上浸水、冠水などの被害 高田では観測史上最大の24時間降雨量を記録

上越市でまた集中豪雨です。26日から27日までの24時間降雨量は高田で242.5ミリ（27日11時現在）にもなり、観測史上最大の数値を記録しました。

この豪雨によって、市内では頸城区松本、国府2丁目、三和区錦など各地で地すべりや浸水、冠水などの被害が発生しました。

## 春日山城跡でも大きな崩落

市が27日17時現在でまとめた被害状況によると、建物被害は住家16件（このうち床上浸水2件、床下浸水14件）、非住家10件です。公共施設で被害を受けたのは大貫にあるバイシクルモトクロス場の遊歩道脇の法面の崩落など3件でした。その他被害としては、土砂崩れが43件、田の流失が4件などとなっています。



この中には春日山城跡の地すべりも入っています。同城址では、幅30メートル、長さ25メートルの崩落となりました。また五智の公園法面も幅30メートル、高さ50メートルという規模の崩落が発生しました。

日本共産党議員団は26日の夜から情報収集に努め、現地調査や被災者の要望確認、市役所への情報提供などで全力をあげました。

26日は頸城区松本（左上の写真の上）、新光町、五智の道路冠水状況などを視察しました。

27日は、三和区錦、里公地区、中田原、国府、五智などをまわりました。錦では錦川が大増水、布目池を経由する水がはけきれなくなっていて、近くの畑などに広がっている様子などを視察、総合事務所に伝えました。

## 国府では地すべり直後に現地入り

現地調査で一番時間がかかったのは国府（上の写真の下）です。ちょうど市道に面したところで地滑りが発生したばかりとあって、市役所の担当課が来るまで現地にはいませんでした。ここからは、これまで発生した災害のことから、住宅地の開発のことまでいろいろ話を聴くことができました。国府か



【ツリバナ】キキョウ科の多年草。漢字で「岨菜」と書きます。初めて出会ったのは10年ほど前です。ツリガネニンジンと似ているものの、花は同じ紫色でも大きく、スカート状に開いています。いまが見頃です。

ら中門前にかけては奥の山地からの水が住宅街の水と一緒に流れて出てきます。それだけに大量の水が出る人が多いのですが、それにふさわしい排水路が出来ていないことなどがわかりました。都市部の住宅街の水害対策はこうした点などをふまえたものでなければなりません。当面する対策と同時に水害を防ぐ抜本的な対策が求められているなど感じました。現地では市担当課と電話で連絡を取り合い、対応してもらおうケースもありました。今回の被害についてはさらに調査をし、議会できちんとりあげていく予定です。

## アール・ブリュットの記録映画

記録映画、『アール・ブリュットが生まれるところ』を24日、高田世界館で観てきました。「アール・ブリュット」というのは、フランス語で「生の芸術」という意味だそうですが、正直言って、いまも「アール・ブリュット」というものがどういうものかはよくわかりません。でも、型にはめられたものではない、自然な芸術作品の方が私の気持ちにぴったりくる感じがわかりました。そして障がいを持った人のなかにこそ、こうした作品をつくることもできる人が多くいることも納得できました。



はしづめ法一の  
活動レポート

**No.1767 2016.7.31**  
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ  
「ホーセの見たある記」は  
← こちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第四一五回

### ジグソウパズル

みなさんもご覧になったことがあるかと思えます。一枚の絵が細かく分けられていて、これをいったんバラバラにし、それを再び結合させて絵に仕上げるというゲームです。ジグソウパズルって言うんだそうです。

先日、家族の一人が母のために一枚のジグソウパズルを購入してきました。B4サイズの横長のものです、上の方には、「場所と形がおぼえられる都道府県ジグソウパズル」という文字が大きく書かれています。

先日、夜遅く家に帰り、居間のテーブルの脇で横になっていたところ、母が突然、私に質問してきたのでびっくりしました。その時のやりとりを書くところからです。

「とちや、日本列島に県は41か？」

「なして、47だこてね」

「ほっか」

母を見たら、手に日本列島の各都道府県名、及びその名物が描かれているこのジグソウパズルを持っていました。母は、再び数えはじめました。

「とちや、49だでや」

「なして」

「違うがか」

正直言つて、このやりとりをしていて、私は「こりや、ばちや、だいぶ進んだな」と思いました。「これじゃ、じきにまともな話ができなくなる」とも思いました。でも、それは私の思い違いでした。

そのことがわかったのは数日後のことでした。大雨災害の調査から戻ってきた日の午後、母と再びこのジグソウパズルをめぐってやりとりをしました。母は、「東京だとか京都はちっちゃいな。長野はでっけでも」と言い、続いて、「京都は府か。東京は都だな」と訊いてきたのです。それでわかったのです。母が前に「県は41か」と言ったのは、全国の都道府県の中で県はいくつあるのかと訊いてきたのだということが。

これは申し訳ないことをしたなと思つていたところ、母が私に向かって、「とちや、県はいくつあると言つたけかな」と訊いてきました。

「おまん、都道府県の中の県だけの数か。そんなら43だよ」と答えると、母は長座布団の上に横になって、ジグソウパズルの絵を左手に持ち、右手人指し指で一つひとつ数え始めました。「ひとつ、ふたつ、みっつ、よっつ、いつつ……」とやつて、数え終わつたところで、「やつぱり、もつといっぺことあるでや」と言いました。

ここで「なして、違うこてね」と言う前に、何故、母が数えると日本の県の数が増えるのかを探ることにしました。それで、ちよつと角度を変えて、「新潟県の名物はなんだね」と今度は私から尋ねてみました。

「山梨県はブドウだろーな。あ、(新潟県は)コシヒカリだもんな。長野県はわさび、山形県はさくらんぼ。群馬はダルマさん、洋子さんは選挙のとき、贈ってくれた……」と答えたところで、ふと思いました。県がいくつあるか、母の勘定の仕方ではときどき名物のところにも右手人指し指で指しているのかも知れないと。

母が持っている「都道府県ジグソウパズル」はまだ47に分解したことがあります。いまのところ、ナイロンカバーをつけたままです。47をバラバラにしたときに、果たして再び日本列島が出来上がるのかどうか、母の頭の体操の結果に注目です。

## 新消防本部建設予定地ほぼ確定

新しい上越地域消防事務組合本部・上越北消防署の建設予定地及び基本計画がほぼ決まりました。当局の説明によると、建設予定地は藤野新田にあるリージョンプラザ臨時駐車場周辺（ワークパル前）です。

これは26日の上越地域消防事務組合議会全員協議会で明らかにされたものです。

消防本部当局は、予定地は洪水浸水想定区域に入っているものの、他の候補地に比べ、浸水の危険性が少ないこと、消防訓練施設、ヘリポートの併設が可能な広大な敷地確保が可能であることなどを選定理由にあげています。

全員協議会では議員から、「浸水想定区域にこうした重要施設をつくった例はあるか」「いざというときの対応はどうするか」などの質問が出ました。答弁では、新潟市や長岡市も浸水想定区域に建てられてい



ること、浸水時などのことも考えて、通信指令施設、非常用発電設備などを高層階に設置すること、場合によっては浸水危険時には救急車両などを避難させて対応することなどを明らかにしました。概算事業費などは今後詰めて来月22日の臨時議会で明らかにし、基本計画の正式決定はその時になるということです。

## 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月20日(水)	7月27日(水)
上越南消防署	0.043	0.060
上越北消防署	0.050	0.057
新井消防署	0.053	0.057
頸北消防署	0.040	0.050
頸南消防署	0.050	0.063
東頸消防署	0.053	0.050
高士分遣所	0.050	0.053
名立分遣所	0.057	0.057



## 「長寿のための食卓」を学ぶ

新潟県立看護大学の藤田尚准教授の「長寿のための食卓」と題した講演が22日にありました。

藤田准教授は、「日本が世界一の長寿国になったのは、医療の質の向上とともに、戦後数十年間に取り組みされた食生活の改善によるところが大きい」「長寿には動物性たんぱく質の摂取が必要」などとのべていました。考えさせられました。